

令和元年度 前橋工科大学学生生活実態調査 報告書



Maebashi Institute of Technology

前橋工科大学

はじめに

本調査は学生委員会が中心となり、平成21年度から実施しています。

調査内容は、経済状況、食生活、大学生活など多岐に渡っており、幅広い視点から本学学生の生活実態等を把握し、今後の大学内での各種検討につなげることを目的としています。

この度、今年度の調査結果を取りまとめましたので、報告します。

調査実施日	令和元年9月21日
調査対象学生数	1,330名
有効回答数	1,017名
(有効回答率	76%)

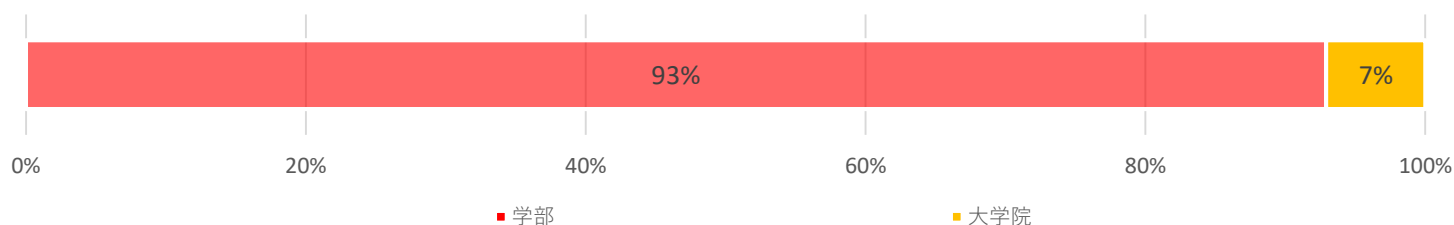
令和元年12月
前橋工科大学学生委員会

1. 回答者データ

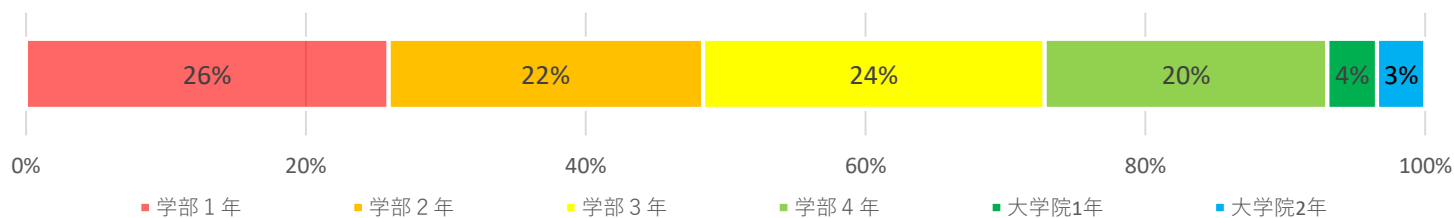
■ 男女比 (N = 1 0 1 7)



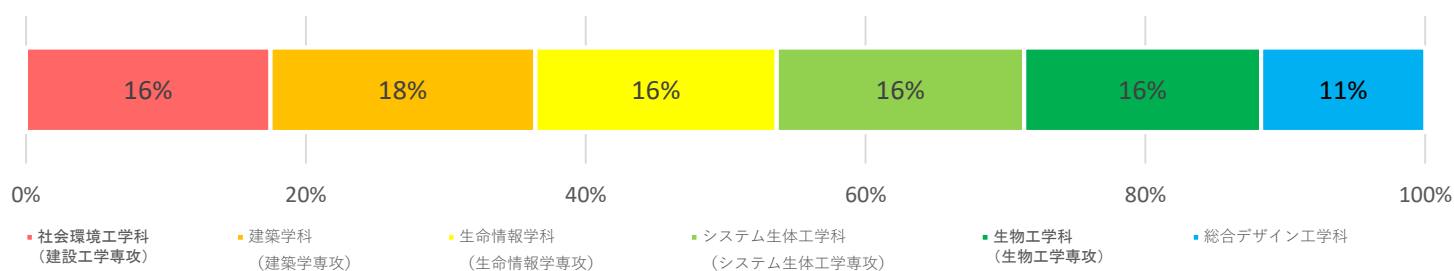
■ 課程 (N = 1 0 1 7)



■ 学年 (N = 1 0 1 7)



■ 学科／専攻 (N = 1 0 1 7)



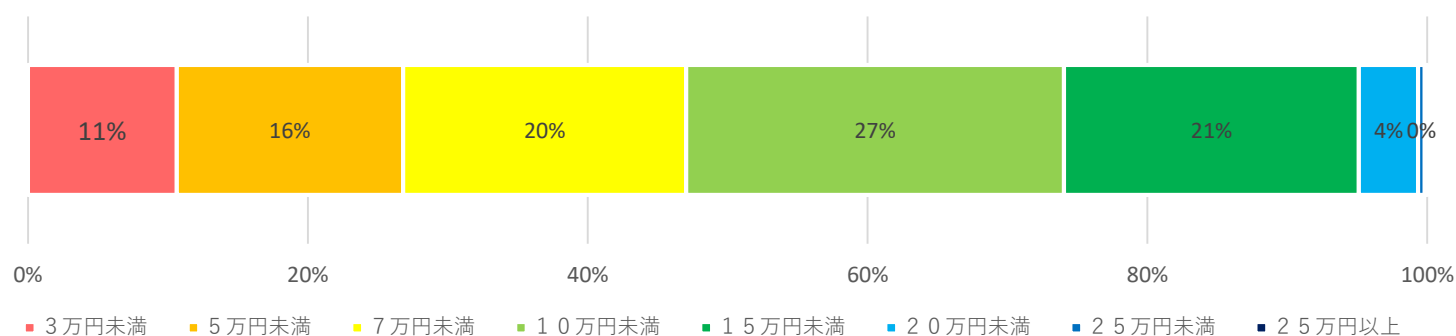
■ 住居スタイル (N = 1 0 1 0)



2. 経済状況（1）

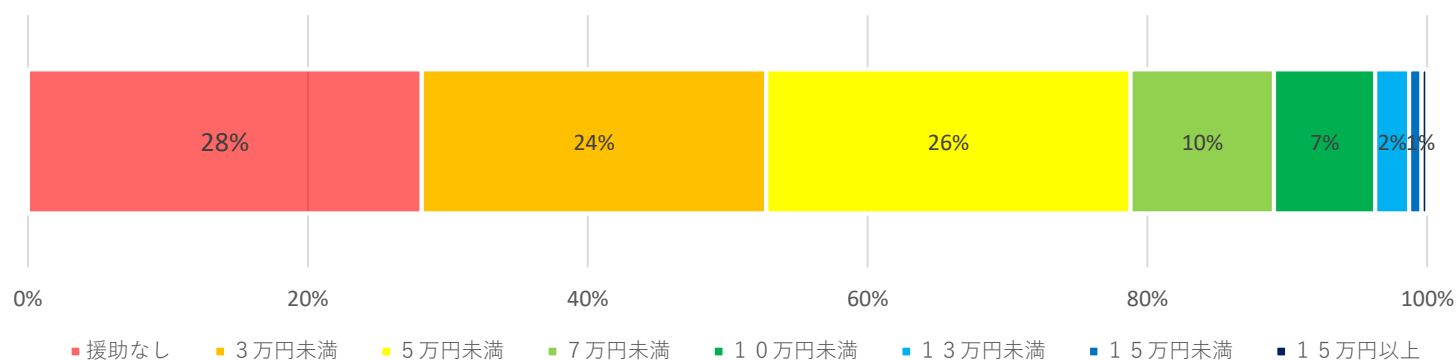
■ 一か月の総収入額（N = 1 0 0 8）

5万円以上15万円未満の学生が約半数を占めている。



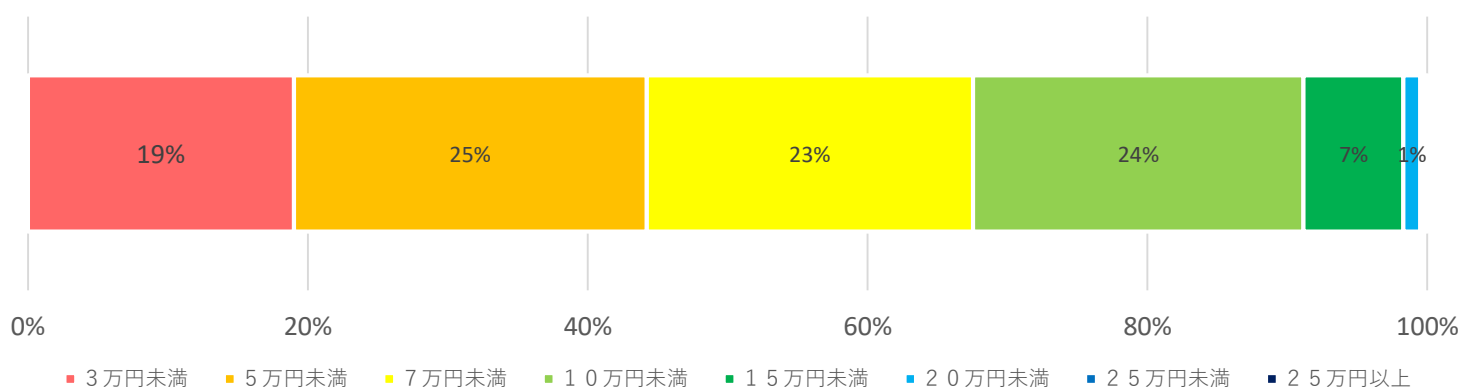
■ 家族からの援助額（N = 1 0 0 5）

「援助なし」「3万円未満」「5万円未満」が同規模であり、多数を占める。



■ 一か月の総支出額（N = 9 9 5）

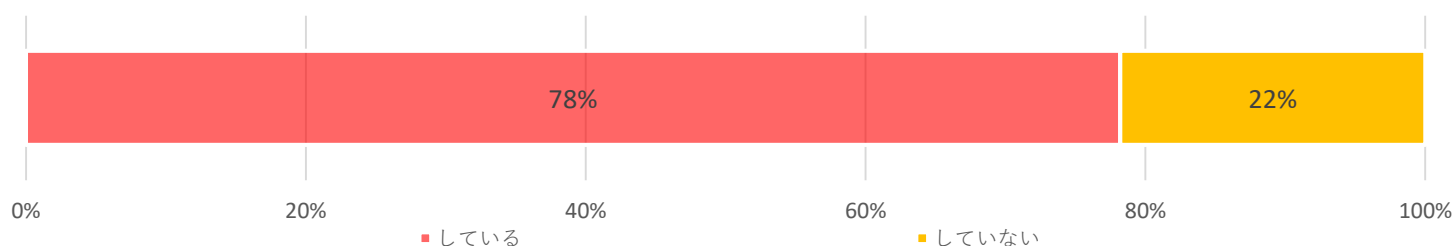
約9割の学生が1か月の支出を10万円未満に抑えている。



2. 経済状況（2）

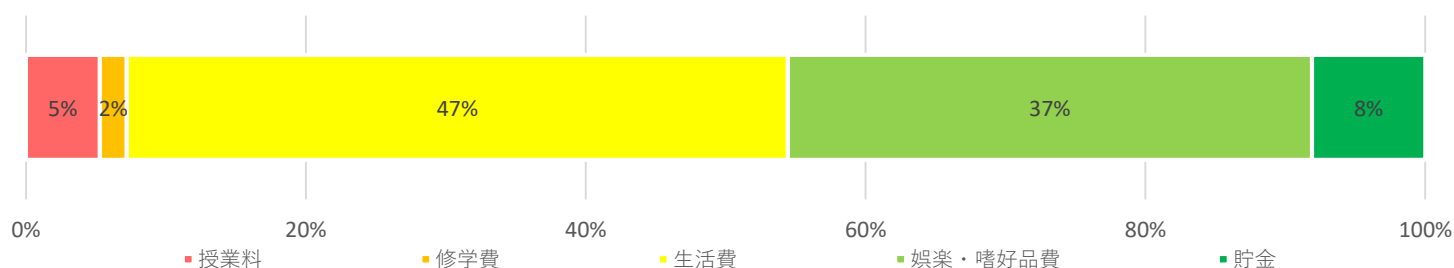
■ アルバイト（N = 1 0 0 0）

約8割の学生がアルバイトを行っている。



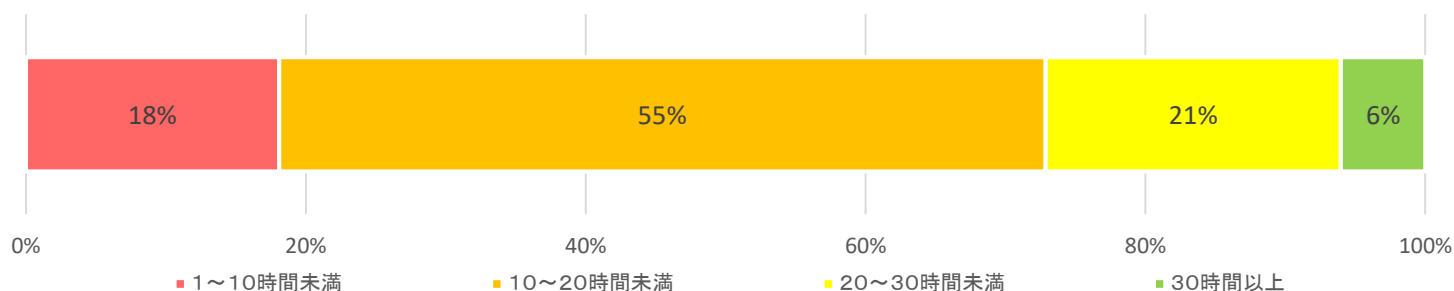
■ アルバイトの目的（N = 7 7 7）

半数の学生が生活費を賄うためにアルバイトを行なっている。



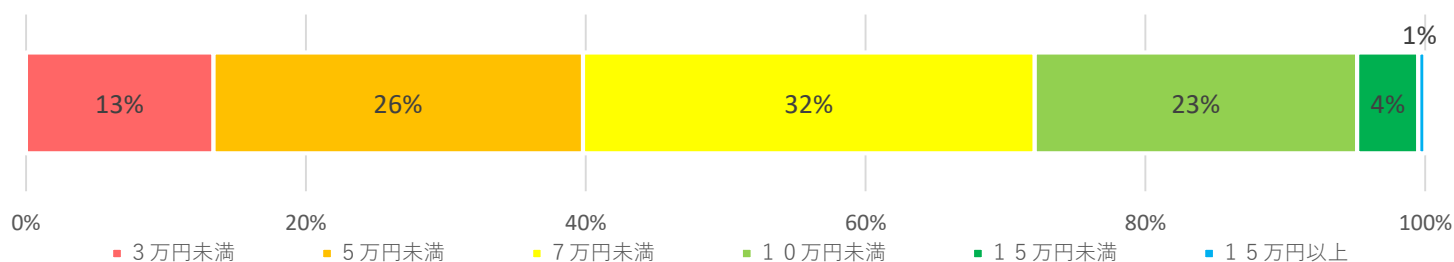
■ アルバイトの労働時間（週）（N = 7 9 6）

7割の学生が週20時間未満でアルバイトを行っている。



■ アルバイトの収入額（N = 7 9 9）

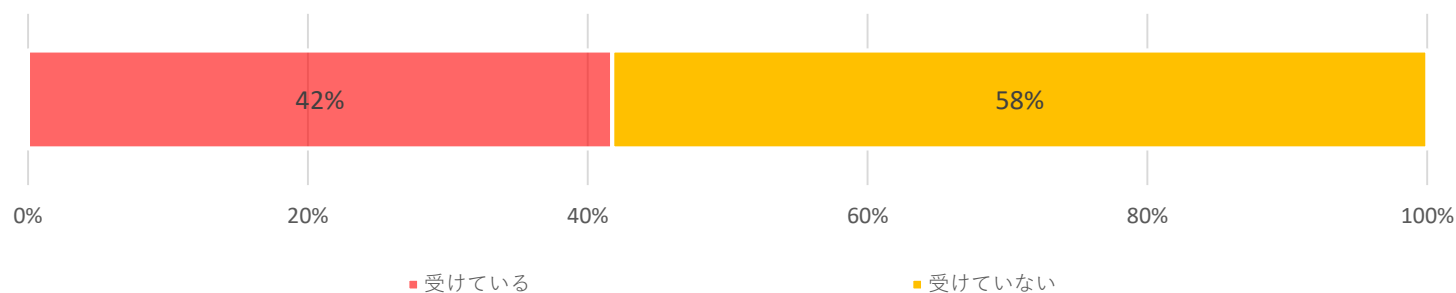
6割の学生が3万円～7万円の収入をアルバイトで稼いでいる。



2. 経済状況（3）

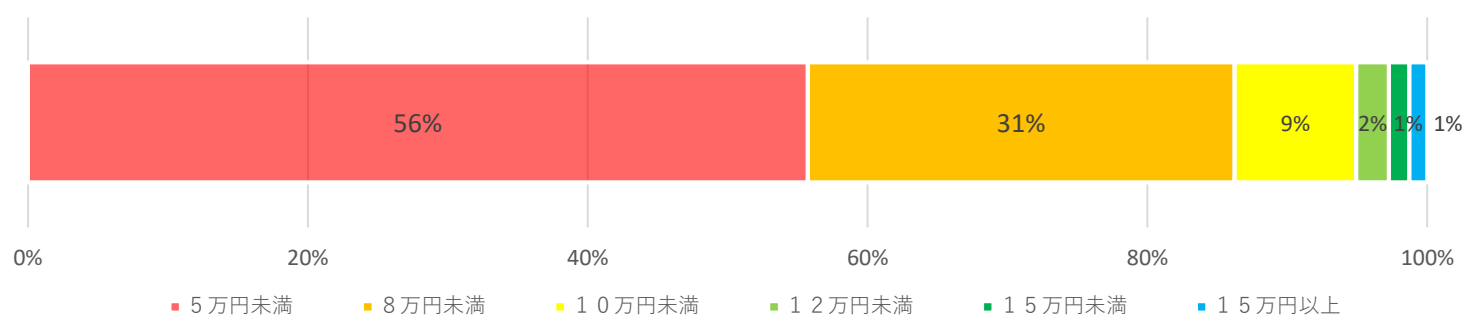
■ 奨学金の受給状況（N = 1 0 0 1）

4 割の学生が奨学金を受給している。



■ 奨学金の受給額（N = 4 7 2）

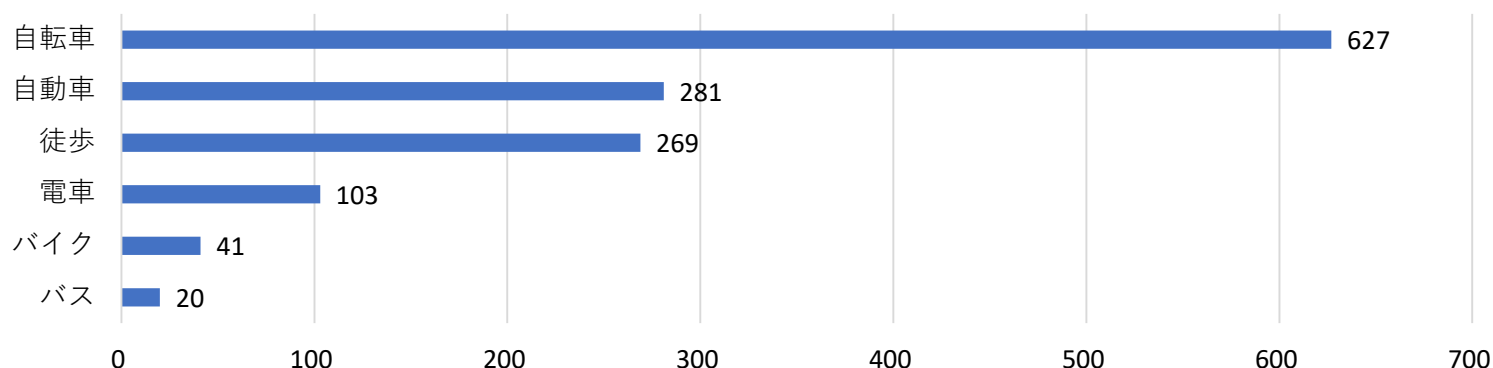
約 9 割の学生が 8 万円未満の奨学金を受給している。



3. 大学生活（1）

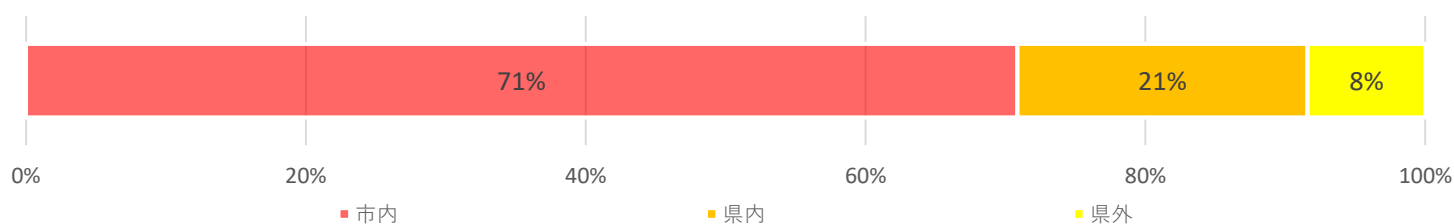
■ 通学方法（複数回答）（N = 1 0 0 1）

多くの学生が自転車で通学している。



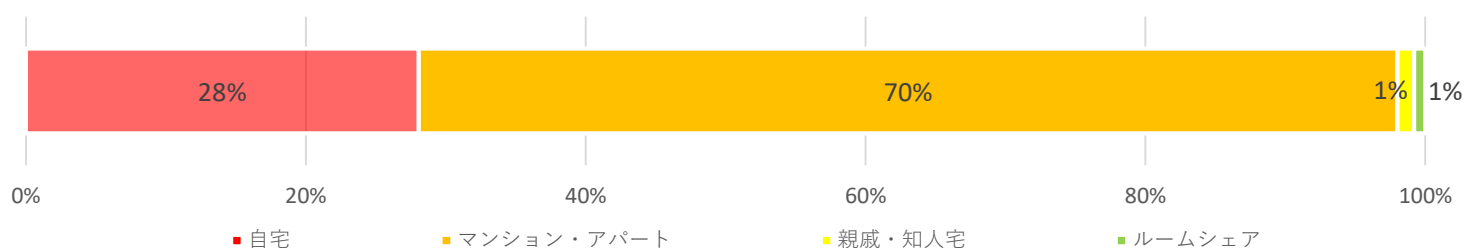
■ 居住地域（N = 9 9 8）

市内から通学する学生が7割となっている。



■ 住居の種類（N = 1 0 0 1）

7割の学生がマンション・アパートに住んでいる。



■ 家賃（N = 8 2 7）

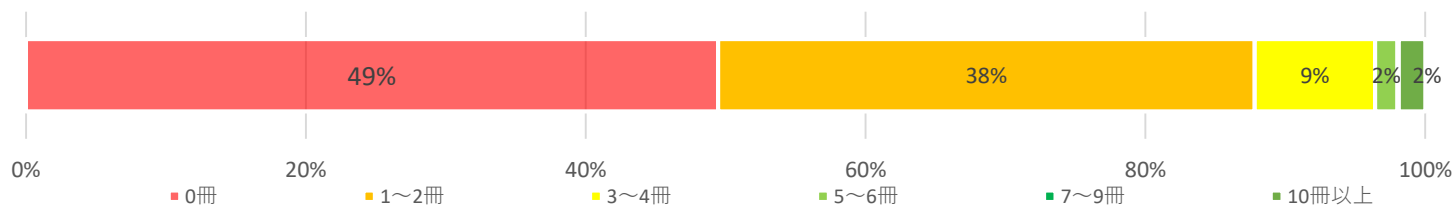
9割以上の学生が5万円未満の家賃の住居で生活している。



3. 大学生活（2）

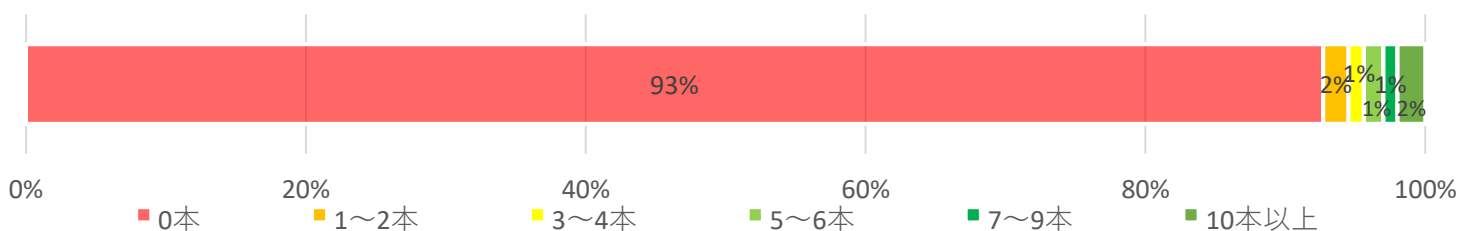
■ 読書（N = 1 0 0 1）

約半数が読書をしていない。



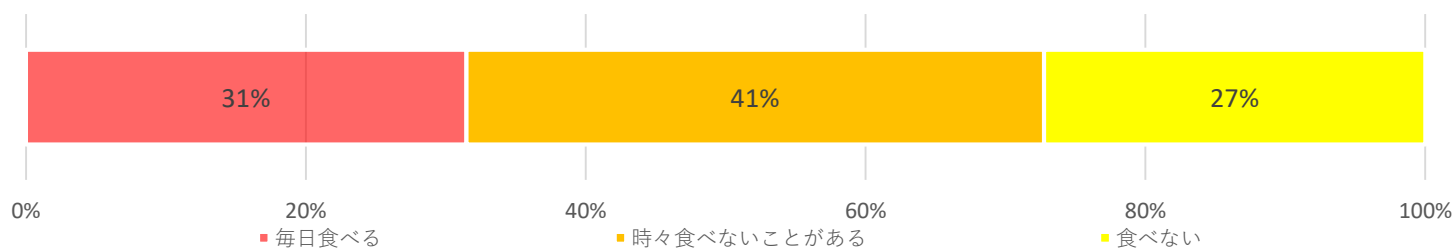
■ タバコ（N = 9 9 4）

約9割は喫煙していない。



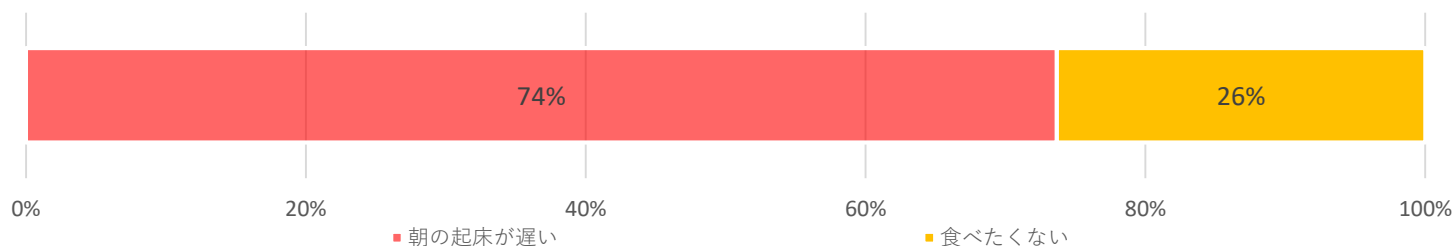
■ 朝食の有無（N = 9 9 8）

毎日食べる学生が3割しかいない。



■ 朝食を食べない理由（N = 6 8 0）

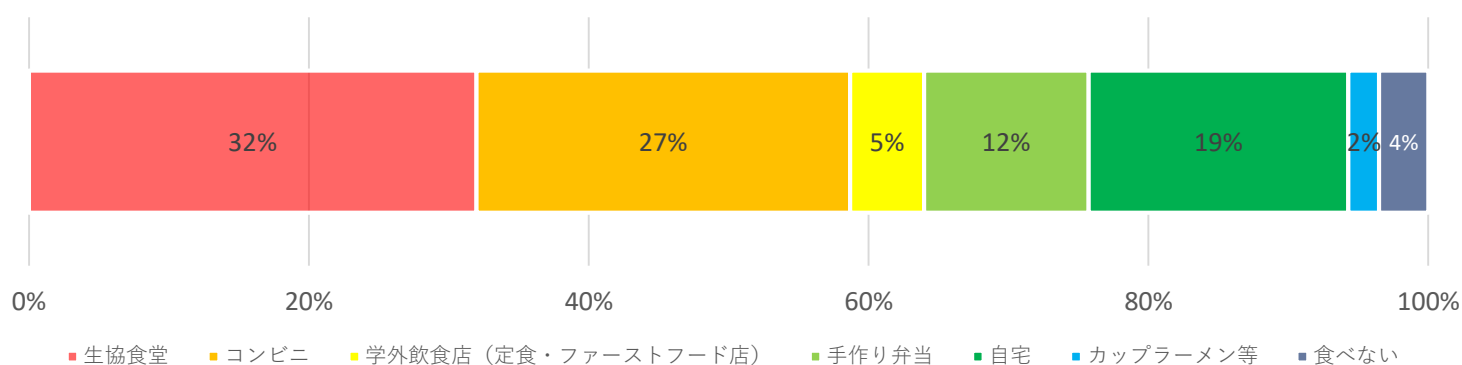
起床時間が遅いため朝食を取らない学生が7割となっている。



3. 大学生活（3）

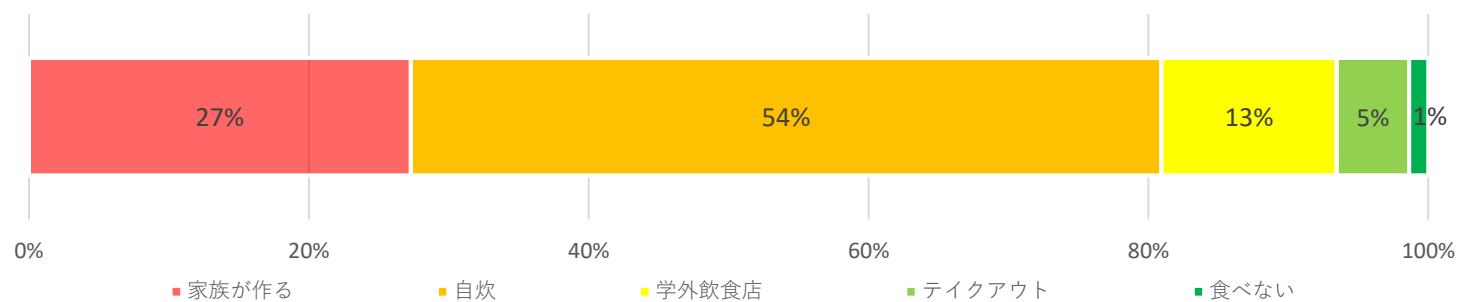
■ 昼食の種類（N = 910）

大学内やコンビニ等、アクセスしやすい場所で調達する学生が多い。



■ 夕食の種類（N = 949）

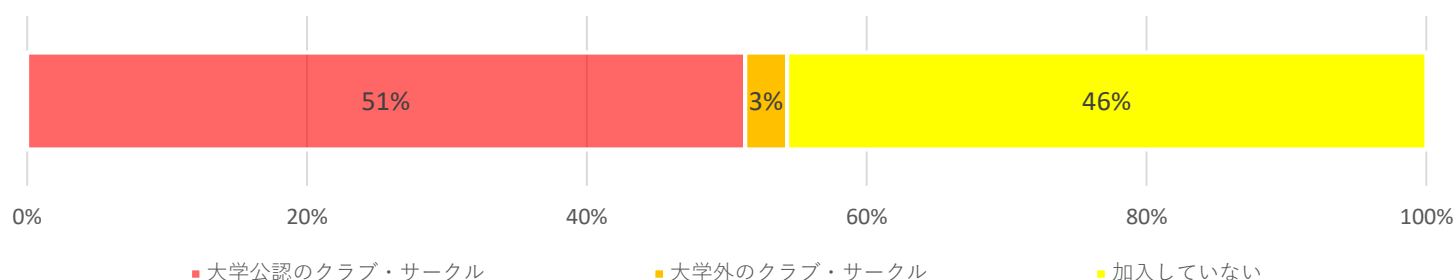
自宅外の学生が多いので、5割以上の学生が自炊をしている。



4. 課外活動

■ クラブ・サークル・団体活動（N = 998）

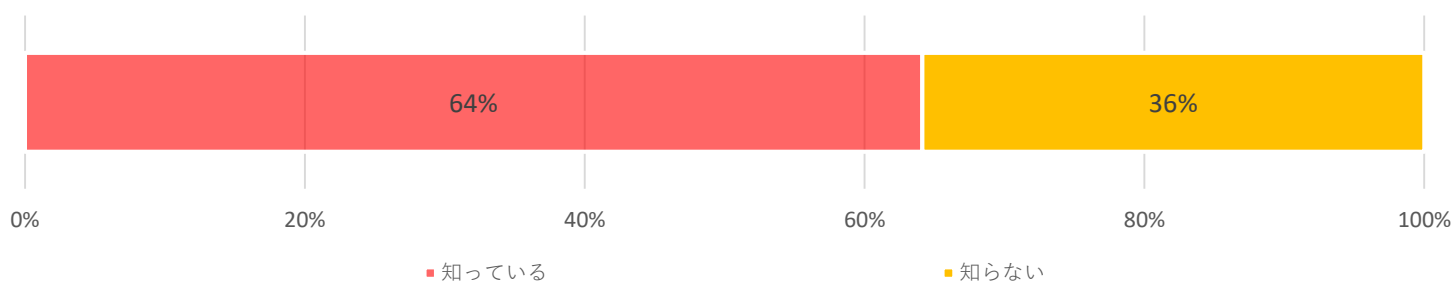
半数以上の学生が学内外にて、サークル等の活動を行っている。



5. 悩み事と各種支援制度（1）

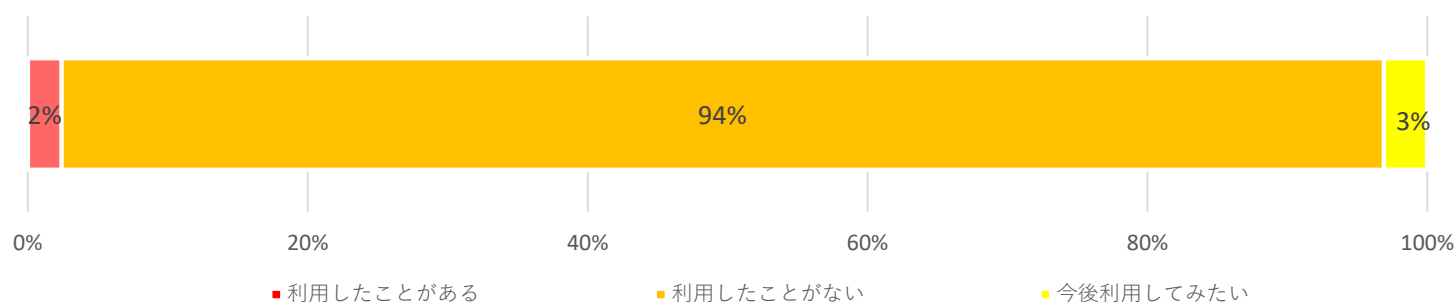
■ 学生相談窓口の認知度（N = 998）

相談窓口についての認知度は6割を超えている。



■ 学生相談窓口の利用（N = 998）

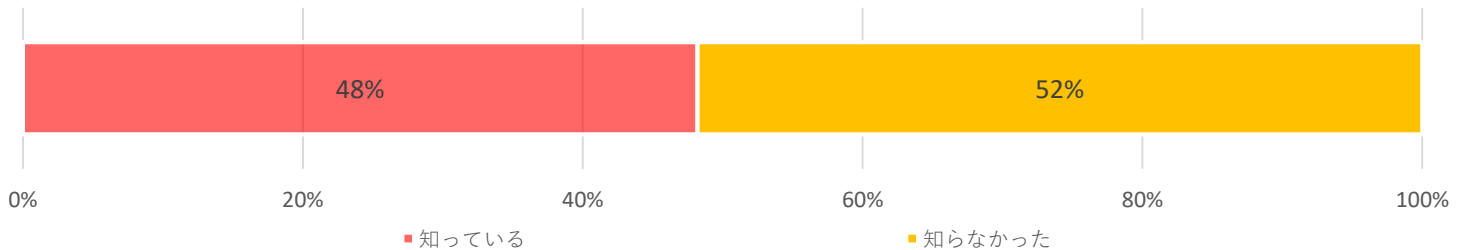
学生相談窓口を知っているが、利用者が数パーセントとごく僅かである。



5. 悩み事と各種支援制度（2）

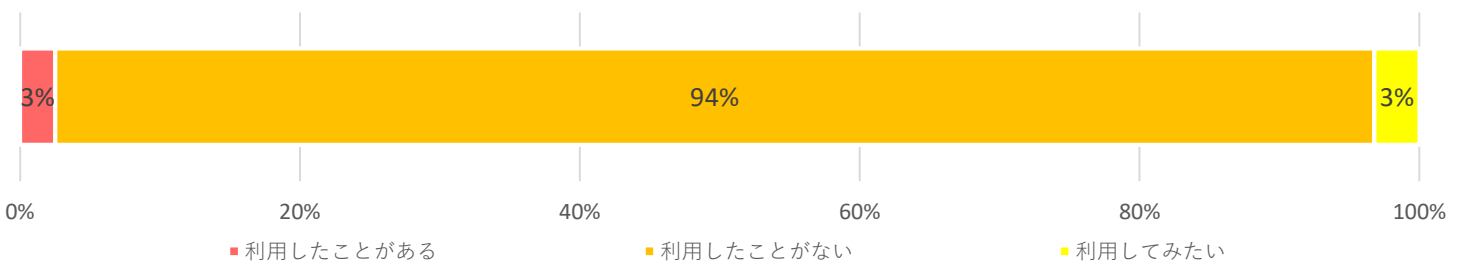
■ メンタル相談の認知度（N = 998）

学生相談の認知度よりも低いものの、約半数の学生がメンタル相談窓口を認知している。



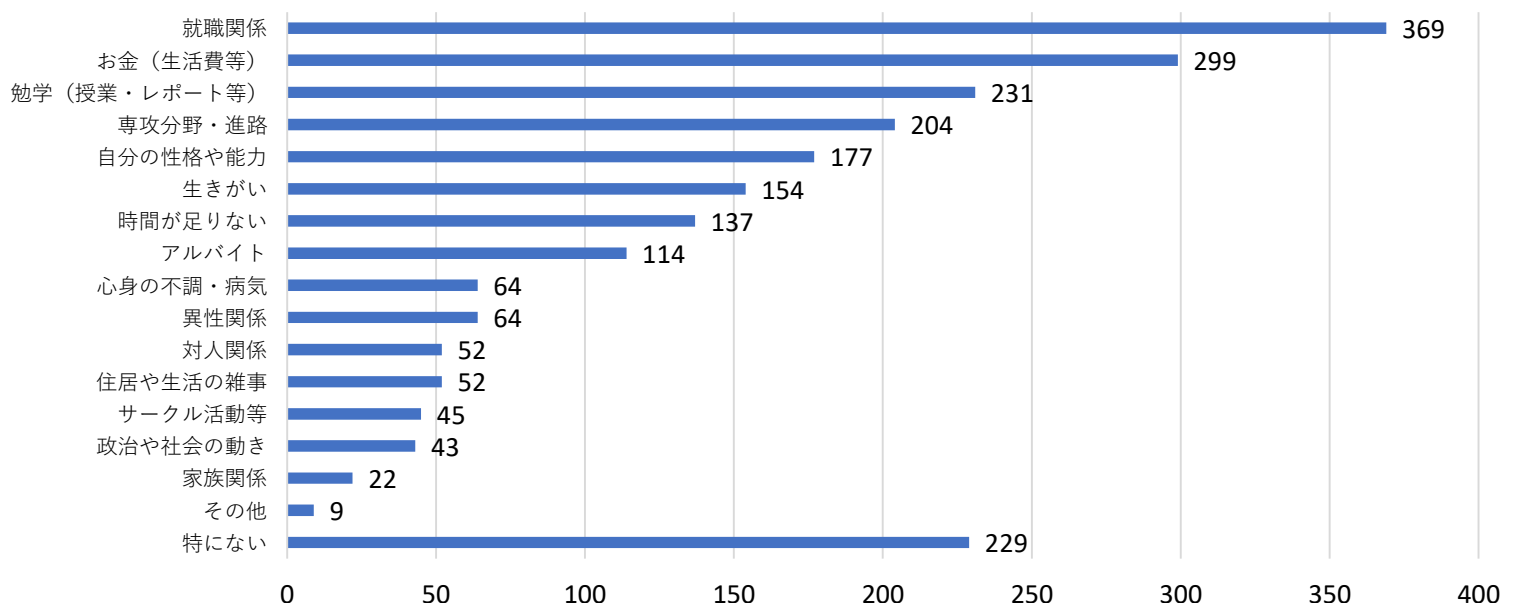
■ メンタル相談の利用（N = 992）

相談窓口を知ってはいるが、利用者数は数パーセントとごく僅かである。



■ 日頃の悩み（複数回答）（N = 939）

就職、金銭、勉強といった日頃から意識しやすい項目に関する悩みが多い。

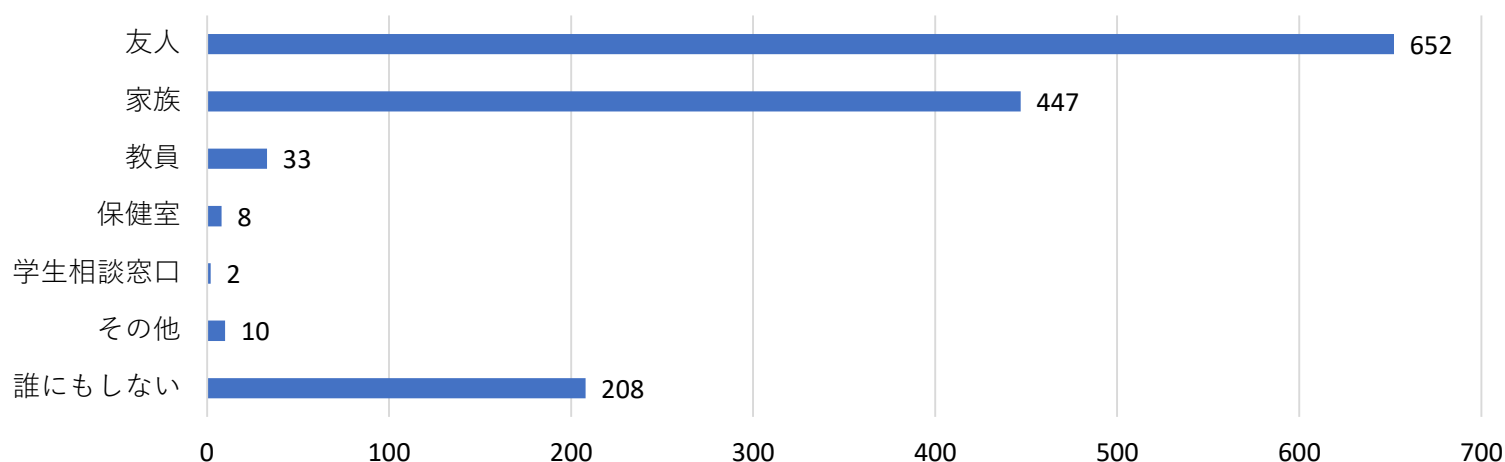


（件）

5. 悩み事と各種支援制度（3）

■ 悩みの相談相手（複数回答）（N = 980）

身近な相手に相談する傾向が多いが、誰にも相談しない傾向も多くみられる。



■ 学年担当制（N = 996）

（件）

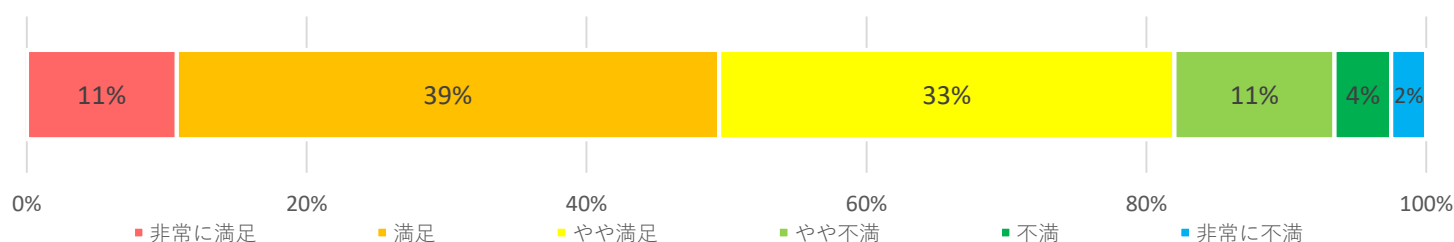
半数を超える学生が知らないと回答している。



6. 大学に対する満足度（1）

■ 学習環境の満足度（N = 962）

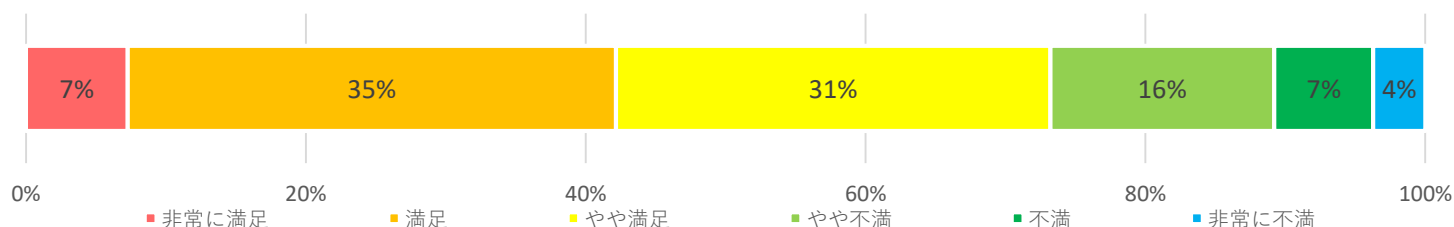
8割以上の学生が「やや満足」以上と回答している。



6. 大学に対する満足度（2）

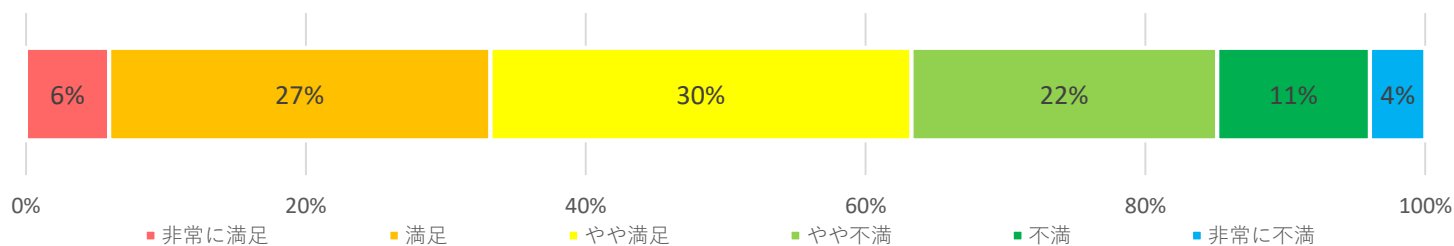
■ 情報機器の充実度（N = 963）

7割以上の学生が「やや満足」以上と回答している。



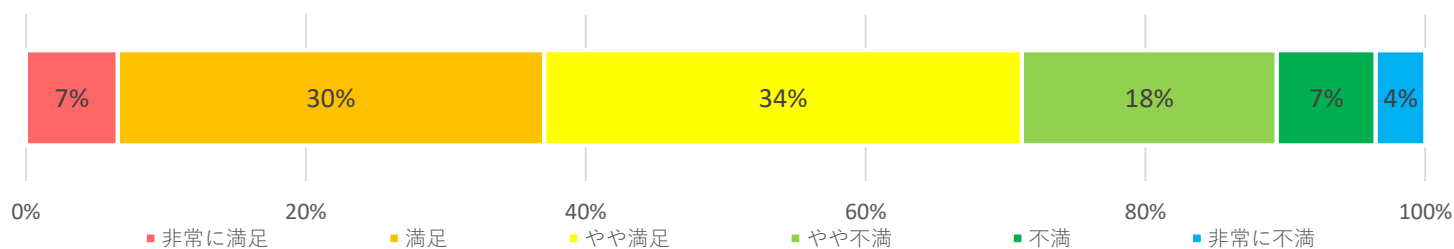
■ 講義情報等の伝達環境の満足度（N = 961）

6割の学生が「やや満足」以上と評価している。



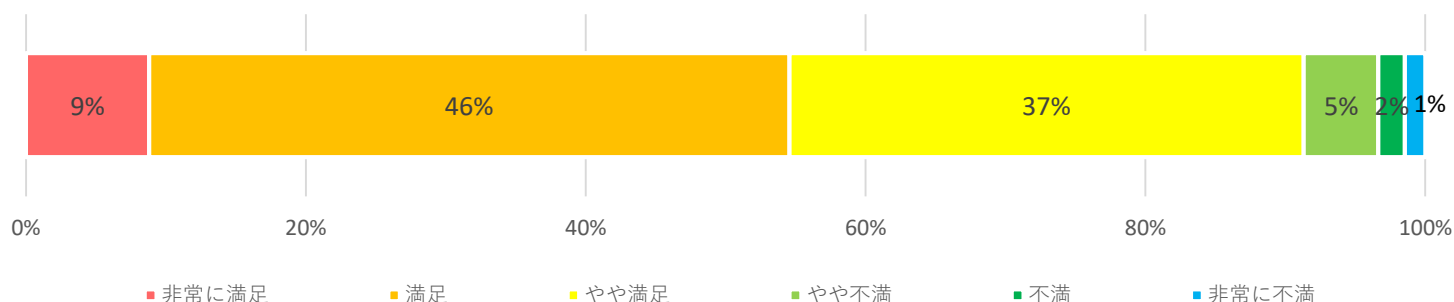
■ ホームページ等での情報提供の満足度（N = 961）

7割の学生が「やや満足」以上と評価している。



■ 相談環境の満足度（N = 955）

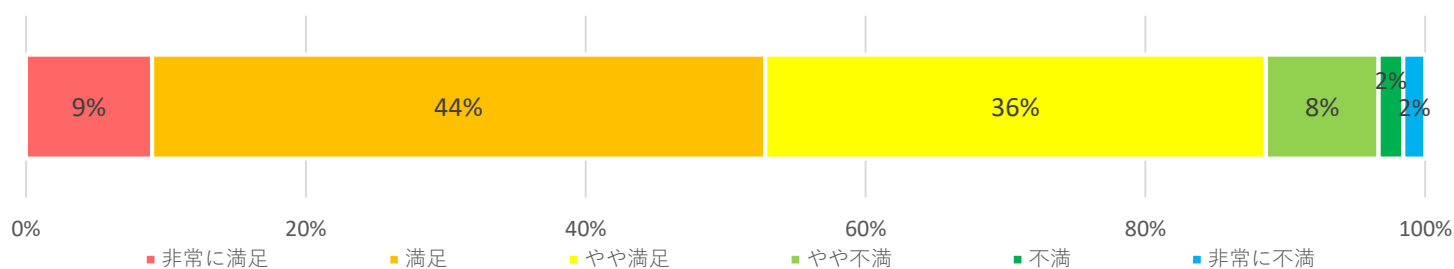
9割以上の学生が「やや満足」以上と評価している。



6. 大学に対する満足度（3）

■ 教員サポートの満足度（N = 956）

教員によるサポートに満足している学生が約9割を占めている。



■ 事務局での窓口対応の満足度（N = 960）

8割の学生が「やや満足」以上と評価している。

